

第 180 号 内容紹介

1, C・ジョンストン「ウクライナの平和に反対するとは」

戦争終結に向けたトランプ動きにあれこれ騒いでいる人たちは何を考えているのか。悪夢への道を開いた者は、ゼレンスキーに責任を押し付けようとしているトランプを含め、全員檻に入るべきだ。豪州からのエッセイ。

2, コード・ピンク「トランプによるウクライナ和平のチャンス」

アメリカの戦略転換によってウクライナ和平の扉が開かれた。ウクライナの平和を願うなら、トランプ大統領のイニシアチブに拍手を送るべきだとアメリカの平和団体がよびかけている。

3, B・ノートン「ロシアとの連携で中国を狙うトランプ戦略」

トランプの戦略転換は平和のためというより、中国をにらんだものだ。1970年代にニクソンとキッシンジャーが用いた「分断統治戦略」を逆利用して、ロシアと中国の離反を狙っていると、G/E が豊富な資料提供。

4, UN ニュース「ウクライナ侵攻 3 年で国連はどう動いたか」

同盟関係が劇的な変化を遂げるなか、国連総会はウクライナと米国提案の両方を採択したが、平和への道筋をめぐる戦略的な相違が表面化した。安保理を含む決議と投票動向の詳細。

5. ユン・ヨンサン「内乱と弾劾政局、民主改革進歩勢力の課題」

内乱擁護勢力と民主進歩勢力のせめぎ合う韓国の現状をどうみるか。1980年代の民主化運動をになった「元老」たちを中心に結成された「全国非常時局会議」の企画委員長を務める筆者が打開の方向を提起。

その他の記事は「AALA ニュース編集日記」で参照できます ([aala_news の編集日記 \(livedoo na 愛用紹介 r.jp\)](#))